重文札幌農学校第2農場農機類標本台帳

一般名称: 発動機、エンジン	現地の通称: ゼット式エンジン

資料種別: ◉製品-実物 ○製品-レプリカ ○製品-模型 ○製品図面 ○写真等 ○図書掲載 ○その他

資料種類: 動力・分野	☐人力用具 ☐耕起前器具 ☐管理防除 ☐貯蔵関連 ☐畜力用具 ☐耕耘用具 ☐収穫機 ☐施設類 ☒原動機具 ☐整地用具 ☐調製機器 ☐機素 ☐トラクタ用機 ☐施肥播種 ☐加工機器 ☐その他	管理プレートNo. 牝牛舎022 台帳No.

製作者・会社: Fairbanks-Morse、 製造市・国名 USA

製造年_購入年,標本収集年:

使用目的・使用方法等

動力源

利用経過_収集記録_意義等

本邦への輸入始めは、大正4年札幌興農園がアルファ型（農林省：農業機械化に関する資料）、そうでなく大正5年に札幌日の丸商会がアルファ型を輸入し玉蜀黍脱粒機（農機春秋記載）、また澱粉製臓器やミルクセパレータ（清水浩：日本農業発達史）に利用したのが始まり等と文献により諸説ある。何れにせよ欧州大戦で好景気を迎えていた大正初めに石油発動機を輸入したのに始まる。そして大正時代にゼット・ウッテ・ストーパ・エドワードなど輸入品エンジンの最盛期が始まった。利用記録不明、収集記録不明、大正年代に収集されたと推定、附属農場の「農機実験室」標本棚に載っていた。1969年に建物解体により、モデルバーンに移設し、現在に至る。

仕様書_解説等

1.5Ps／500rpm

右に全体図

外観特色関連図等

資料の所在

牝牛舎

資料への特記事項

資料管理経過

作業メモ・上掲欄の超過文追記

台帳管理番号